

北上市特定公共下水道終末処理場増設事業完了



(写真提供: 日本下水道事業団東北総合事務所岩手事務所)

北上市が整備を進めてきた北上市特定公共下水道終末処理場増設事業が完了した。同市北部にある北上工業団地の工場排水は特定公共下水道に排水され、北上工業団地終末処理場で処理しているが、近年、団地に進出する企業が増えたことや工業団地のさらなる拡張に伴い、既存の終末処理場の処理能力を上回る工場排水が流出される見込みとなっている。このため日本下水道事業団と協定を締結し、2018年から1日当たりの最大処理能力9,500m³の増設事業を進め、本年6月に供用を開始。既存処理場と合わせて1日最大処理能力は36,500m³となった。7月23日には同市二子町渋谷地内の現地で落成式が行われ、関係者がテープカットを行い、事業完了を祝った。

増設処理場の概要		
敷地面積	5.01ha	
処理能力	9,500m ³ /日(既設27,000m ³ /日、合計36,500m ³ /日)	
処理方法	標準活性汚泥法 供用開始 2025年6月	
水処理	分配槽	2水路に分水 手がき式バースクリーン 目幅50mm
	調整池	将来建設予定
	反応槽	2槽(RC造) 幅6m×長52m×水深5.5m 散気装置: 攪拌機+低圧換型メンブレン式送風機: ルーツ式(13.6m ³ /分、2台)
	最終沈殿池	2槽(RC造) 幅6m×長40m×水深3.55m ノッチチェーン式汚泥掻寄機
	塩素混和池	1槽(RC造) 幅3m×長22.3m×水深3.25m 次亜塩素酸ナトリウム注入式
汚泥処理	汚泥濃縮槽	1槽(RC造) 径3.5m×深4m 中央駆動懸垂型
	汚泥貯留槽	2槽(RC造) 幅3.0m×長7.9m×水深2.2m
	汚泥脱水機	1基 横型連続遠心脱水機 処理量: 3.5~15m ³ /時
脱臭装置	脱臭炭吸着塔 1基 処理能力 34m ³ /分	



落成式でのテープカット



反応槽

北上市北上工業団地終末処理場建設工事その2、その3、その4、その5
鴻池組・トヨー富士工特定建設共同企業体

まじめに、まっすぐ
KONOIKE
株式会社鴻池組東北支店
執行役員支店長 石村 彰生
宮城県仙台市青葉区中央2-9-27 TEL 022-266-1275

株式会社トヨー富士工
代表取締役 角田 隆二
東京都葛飾区柴又7-1-11 TEL 03-5962-3941

北上市北上工業団地終末処理場実施設計業務
水と環境のConsulting&Software
NJS
株式会社NJS
執行役員仙台事務所長 新井山 幹樹
〒980-0802 仙台市青葉区二日町9番7号
TEL 022-266-2821 FAX 022-266-2824

北上市北上工業団地終末処理場水処理設備工事
フソウ・旭ボーリング特定建設共同企業体

水をつくる、いかに、守る。
FUSO 株式会社フソウ
株式会社フソウ
東北支店 支店長 三浦 基導
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目6-1
(仙台第一生命タワービルディング12F)
TEL 022-222-9613 FAX 022-265-3709

水と地盤のプロ集団
旭 旭ボーリング 株式会社
代表取締役 高橋 和幸
本社/〒024-0056 岩手県北上市鬼柳町都鳥186-1
TEL 0197-67-3121 FAX 0197-67-3143